



第3回 地域の生活を動かすしくみを知ろう

■ポイント①：議会の役割

行政は政策の執行を通してわたしたちの生活を支えています。一方で、第2回でも学んだ通り、政策・政策分野には様々な人・モノ・出来事が関わっており、議会はそれらの人・モノ・出来事に関わる利害の調整を担っています。第3回では、二元代表制のもう一方に位置する議会を中心に扱います。

■今日のプログラム①：公園をつくろう！

A市の行政は、市の中心部に大きな公園をつくることを決定し、設計案をつくりました。設計案について、たとえば自分が近隣住民だったら、中学生だったら、子連れの母親だったら、お年寄りだったら、どう思うでしょうか？

グループで一つの立場になりきり、どう思うか考えてみましょう！その後、考えたことを、意見としてほかの立場の人に伝えてみましょう。最終的に、設計案はどのようなものにすれば良いでしょうか？

■今日のプログラム②：「地域解体新書」

別紙のワークシートに記入しましょう。

■ポイント②：議会へのアクセス方法・その他の政治参画

代表的なものは議員を選挙で選ぶことでしょう。行政の首長と同様に、原則4年に1回、選挙があります。

そのほか、一定の条件を満たすと、首長の解職請求・議会の解散請求（まとめて「リコール」と呼ぶ）や、条例の改廃請求・監査請求といった、直接請求権を行使することもできます。直接請求も、政治参画の重要な方法です。

■メモ

■まとめ

★今回の授業のねらいチェックリスト

- 生活を動かし、より良くする機能を持った議会について知ることができたか
- 議会を通じた政治へのアクセス方法を知ることができたか

★学んだこと・どう思ったか／先生からのコメント

課題点

選挙の授業が多い

社会全体の変化へつなげていく

政治的中立性を今後どうするか
(海外は先生が意見を言える国も)

副読本の作成



石	津	廣	司	弁護士
小	倉	由	紀	東京都選挙管理委員会事務局広報啓発担当課長
金	井	壯	太	(公財) 明るい選挙推進協会調査広報部主幹
黒	崎	洋	介	神奈川県立湘南台高等学校教諭
桑	原	敏	典	岡山大学大学院教育学研究科教授
佐	藤	良	作	福島県選挙管理委員会事務局副主査
杉	浦	真	理	立命館宇治中学校高等学校教諭
高	橋	朝	子	東京都立戸山高等学校主幹教諭
中	谷	美	穂	明治学院大学法学部政治学科准教授
原	田	謙	介	NPO法人 YouthCreate 代表理事
林		大	介	東洋大学社会学部助教
藤	井		剛	明治大学文学部特任教授
朴	澤	ゆ	かり	岩手県立盛岡峰南高等支援学校長

2

国家・社会の形成者として求められる力

国家・社会の形成者として求められる力は、次のようなものです。こうした力は、変化の速い21世紀社会において活用できる汎用的な力でもあります。

○ 論理的思考力（とりわけ根拠をもって主張し他者を説得する力）

自分の意見を述べる際には根拠をもって説明することが重要であることを理解するとともに、異なる立場の意見がどのような根拠に基づいて主張されているかを検討し、議論を交わす力。

○ 現実社会の諸課題について多面的・多角的に考察し、公正に判断する力

現実の社会においては様々な立場やいろいろな考え方があることについて理解し、それらの争点を知った上で現実社会の諸課題について公正に判断する力。

○ 現実社会の諸課題を見出し、協働的に追究し解決（合意形成・意思決定）する力

お互いに自分の考えや意見を出し合い、他者の考えや価値観を受け入れたり意見を交換したりしながら、問題の解決に協働して取り組む力。

○ 公共的な事柄に自ら参画しようとする意欲や態度

大きな社会変化を迎える中で、日本人としての自覚をもって国際社会で主体的に生きること、持続可能な社会の実現を目指すなど、公共的な事柄に自ら参画していこうとする力。